ホットプレート　DHP-1401

取扱説明書・保証書

　このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……………………P. 2〜3
各部の名称とはたらき………………P. 4
正しい使いかた……………………P. 5〜8
お手入れと保存………………………P. 9
修理・サービスを依頼する前に…………P. 10
アフターサービスについて……………裏表紙
保証書…………………………………裏表紙

仕　様

品　名	ホットプレート
型　名	DHP-1401
電　源	100V　50/60Hz
定格消費電力	1300W
電源コード長さ	約1.8m
温度調節範囲	80℃ (保温) 〜 230℃ (強)
外形寸法	使用時：約 幅55 × 奥行32 × 高さ 15 cm (本体+ガラスふた+平面プレート+専用電源コードユニット) 収納時：約 幅41 × 奥行32 × 高さ 18 cm (本体+ガラスふた+すべてのプレート)
質　量	使用時：約 3.3 kg (本体+ガラスふた+平面プレート+専用電源コードユニット) 収納時：約 5.0 kg (本体+ガラスふた+すべてのプレート+専用電源コードユニット)
付 属 品	ガラスふた×1、平面プレート×1、波型プレート×1、(たこ焼きプレート×1) 、 専用電源コードユニット×1、取扱説明書・保証書×1

● 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

XA14A

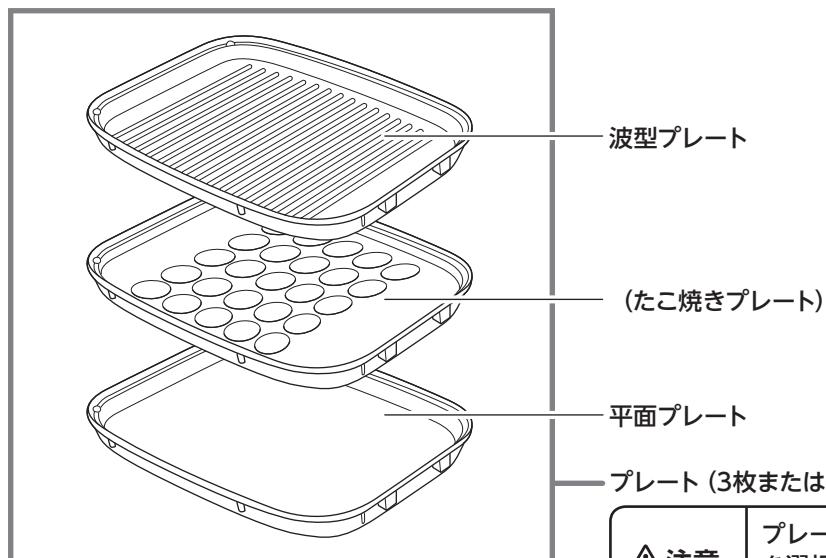
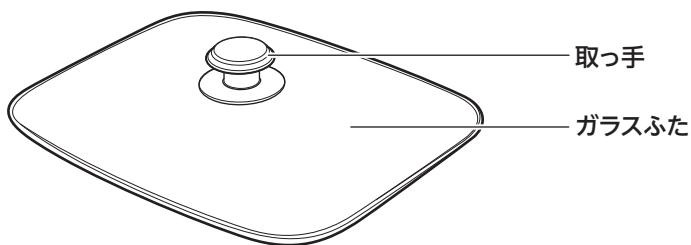
安全上のご注意

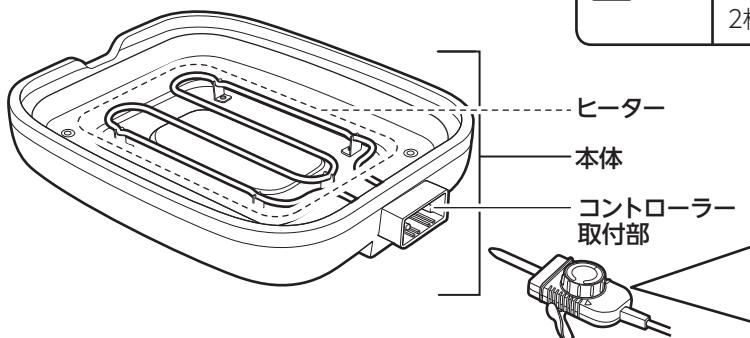
●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

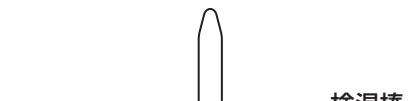
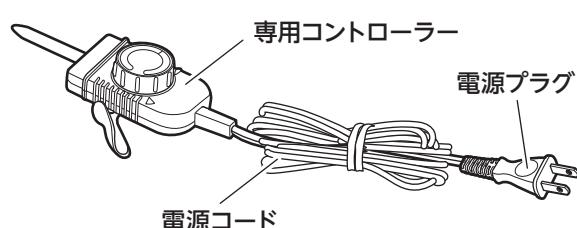
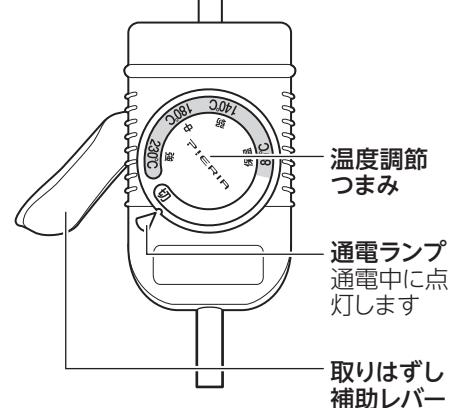
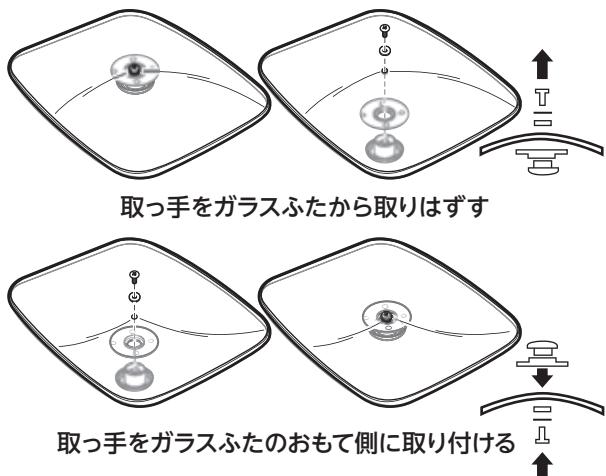
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

図記号	内容
禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電や異常動作してけがの原因になります。
	揚げ物料理はしない。 火災の原因になります。
	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になります。
	業務用として使用しない。 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。

図記号	内容
使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。
指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	定格15A以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
プラグを抜く	**使用後は温度調節つまみが「切」になっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災や故障の原因になります。
	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない（プレート以外）。** ショート・感電の原因になります。ガラスふたは水につけて急に冷やさないようにしてください。

⚠注意

禁止	**付属のプレート以外は使用しない。プレート以外のものをのせて使用しない。プレートをのせずに電源プラグをコンセントに差さない。** 火災・故障の原因になることがあります。	禁止	**お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。** 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	電源コードを束ねたまま使用しない。 火災・故障の原因になることがあります。電源コードは必ずすべて取り出して使用します	指示	**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。** 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		**お手入れや持ち運び、保存は、本体が冷めてから行なう。** 火災・やけどの原因になります。
	缶詰やびん詰などをプレートにのせて加熱しない。 破裂したり、赤熱したりしてやけどやけがの原因になります。		**調理物が発煙・発火したときは、温度調節つまみを「切」にし、電源プラグを抜く。** 火災の原因になることがあります。
	使用中は本体から離れない。 調理物が発火して、火災の原因になることがあります。		**金属製のへらやナイフを使用しない。** 鍋の表面が傷つき、腐食の原因になることがあります。樹脂製や木製のへらをご使用ください。
	調理以外の目的に使わない。 火災・故障の原因になることがあります。		**調理くずが残らないよう、こまめにお手入れする。** 火災の原因になることがあります。
	使用中や使用後しばらくは、本体やプレートにふれない。 やけどの原因になることがあります。		**ガラスふたは、キズや硬いものにぶつけたり、直火や水などで急冷しない。** 破損の原因になることがあります。
	熱い状態のガラスふたをビニールクロスやテーブルなどの上に置かない。 変色や変形の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき

⚠注意	**プレートは3枚または2枚（BK2）のうち、1枚を選択し使用する** 2枚以上重ねると、加熱や調理ができません。

⚠注意	**電源コードはたばねたまま使用しない。** 発煙・発火の原因になることがあります。

正しい使いかた

使用前の準備

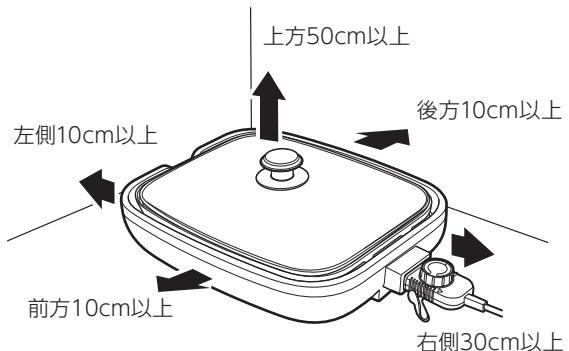
1. ガラスふたの取っ手を取り付けなおす

ご購入時、ガラスふたの取っ手がガラスふたのうら側（凹面）に取り付けられています。お手持ちのドライバーなどを使って、ガラスふたのおもて側（凸側）に正しく取り付けてください。

取っ手をガラスふたから取りはずす

取っ手をガラスふたのおもて側に取り付ける

2. ガラスふたとプレートを丸洗いする

プレートは丸洗いできます。初めてご使用になるときや、長時間使用しなかったときは、使用するプレートをよく洗い、十分乾かしてからご使用ください。

（初めに使用するときは、煙や臭いが若干出ることがありますが故障ではありません。初めての使用の前、プレートごとに、10分間程度空焼きしてから冷まし、十分に洗ってから、調理を開始してください。）

3. 本体を正しく設置する

本体は安定した水平な場所に設置してください。

- 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は移動させてからご使用ください。
- 温度調節つまみを必ず「切」に合わせてください。

本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください

次のような場所では使用しないでください。

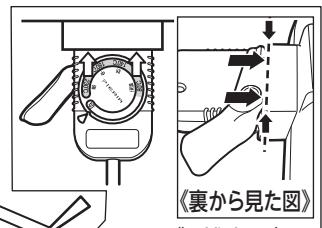
- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く。
- 熱に弱い敷物の上。

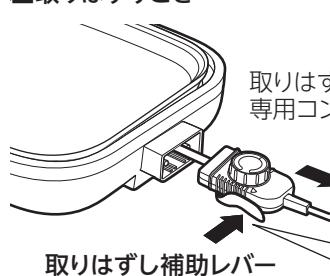
4. 本体にプレートを1枚選んでのせる

調理する料理によって、プレートを1枚選びます。

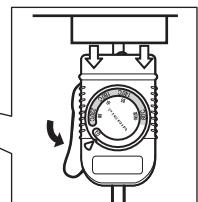
- 平面プレート　　　お好み焼きなどの調理
- 波型プレート　　　焼肉などの調理
- （たこ焼きプレート　たこ焼きなどの調理）

から選択し、本体のヒーターの上にのせてください。

⚠注意	• プレートをのせるとき、プレートの裏面やヒーターに異物が付着していないか、十分注意する。 • ヒーターの上にプレート以外を直接のせたりしない。 • 付属のプレート以外は使用しない。

5. 専用電源コードユニットを取り付ける

本体のコントローラー取付部に真ん中の検温棒から取り付けます。右の図のように専用コントローラーを押し込みます。

⚠注意	• 取り付けるとき、検温棒、接続部などに異物が付着していないか、十分注意する。 • 付属の専用コントローラー以外は使用しない。

■取り付けるとき

《裏から見た図》

取りはずし補助レバーを本体に密着させる

取り付けたとき

■取りはずすとき

取りはずし補助レバーを押して専用コントローラーを取りはずす

取りはずし補助レバー

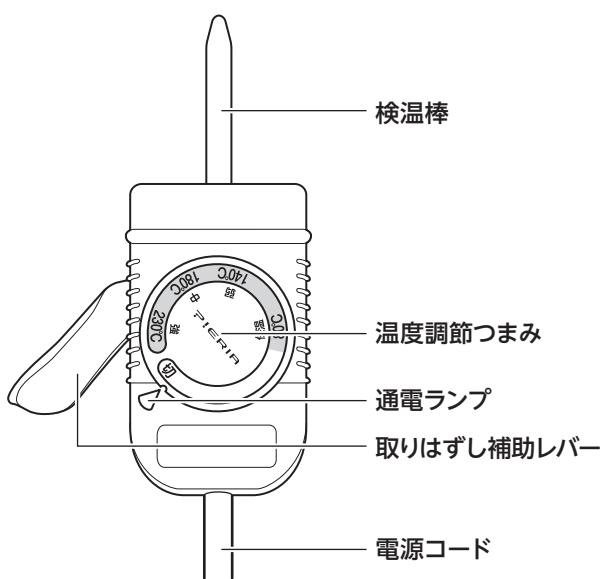
6. 電源プラグをコンセントに差し込み、調理を開始する

専用コントローラーの温度調節つまみが「切」になっていることを確認して、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

7. 専用コントローラーを操作する

調理する温度に温度調節つまみを合わせます。

- 通電ランプが点灯し、ヒーターが熱せられてプレートが加熱されます。
- プレートが設定した温度になると、通電ランプが消灯します。
- プレートの温度が設定した温度よりも低くなると、再び加熱が始まり、通電ランプが点灯します。

⚠注意	• 直接15A以上の壁のコンセントを単独で使用する。 • プレートの温度が高いうちは、プレートの交換、専用コントローラーの取りはずしなどを行なわない。 • 調理を終えてからプレートを長時間そのままにしない。

8. 予熱する

調理する温度に温度調節つまみを7ページの表を目安に設定して、10分弱程度予熱をしてから、調理を始めます。

⚠注意	• 予熱目的以外は空だきは行なわない。 • 予熱も10分以上行なわない。 フッ素樹脂加工などに大きなダメージを与えるため、予熱でも空だきは10分以上行なわないでください。

9. 調理する

あらかじめ用意した具材をプレートにのせてください。。

⚠注意	**調理中は必ずそばにいて、具材がこげたり、発煙したり、出火しないようにする。**

温度設定

調理する温度に温度調節つまみを設定して、10分弱程度予熱をしてから、調理を始めます。

設定温度	温度調節つまみの表示	料理
80° C	保温	焼いたものの保温
140° C	弱	目玉焼き、ホットケーキ、スクランブルエッグ など
180° C	中	焼餃子、たこ焼き、ハンバーグ、魚バター焼き など
230° C	強	焼肉、焼きそばお好み焼き、野菜炒め、ステーキ、など

10.調理が終わったら、電源プラグをコンセントから取りはずす

専用コントローラーの温度調節つまみを「切」にして、電源プラグをコンセントから取りはずしてください。

⚠注意	**• プレートの温度が高いうちは、プレートの交換、専用コントローラーの取りはずしなどを行なわない。** **• 調理を終えてからプレートを長時間そのままにしない。**

プレートの交換

1. プレートを交換するときは、温度調節つまみを「切」に合わせておく

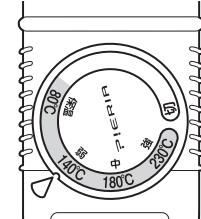
2. プレートが十分冷めていることを確認し、プレートを取りはずす

プレートが冷えていても、ヒーターなど熱を持っていることがありますので十分に注意してください。

3. 取り付けたあとは、がたつきがないか十分確認する

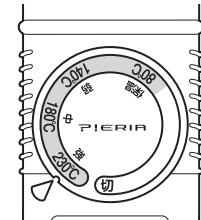
付属のプレート以外使用しないでください。

⚠注意	**• プレート以外をヒーターの上に直接のせて使用しない** **• 付属のプレート以外は使用しない。**

⚠注意	**• ガラスふたは割れ防止のため次の点に注意する。** ・急激に冷やさない　・傷をつけない ・強い衝撃を与えない **• プレートの表面を傷めないために次のことを必ず守る。** ・金属ヘラは使用しない（なべに傷がつく原因になります） ・ナイフやフォークなど鋭利な刃物でこすらない ・長時間の空だきはしない（なべフレームの内側が変形する原因になります） ・みがき粉やナイロンたわしまたは金属たわしなどは使用しない ・なべの表面および裏面に汚れが残ったまま放置しない（腐食の原因になります。必ずきれいにお手入れをしてください） **• 揚げ物料理はしない。** 火災の原因になります。 **• プレートをセットするときは本体の底面やヒーターの表面や周囲に料理カスがこびりついていないか確認する。** 水などがついたときはきれいにふき取ってください。 **• 本体にプレートがセットされていない状態で通電しない。** 火災や本体の故障の原因になります。

正しい使いかた（つづき）

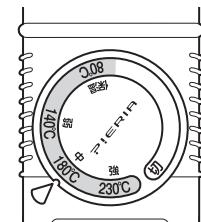
プレートのつかいかた

・平面プレート

調理例　ホットケーキなど

1　本体に平面プレートを選んでのせる。（がたつきがないように、しっかりのせてください。）
2　薄力粉とベーキングパウダーを合わせ、よくふるう。
3　ボールに卵を入れ、泡立てながら砂糖を加えてよくかき混ぜる。
4　1に牛乳と2を用意して、溶かしバターを加え、混ぜ合わせる。
5　温度調節つまみを「**弱**」に合わせ、適温になったら食用油などをひき、タネを丸く流し、ふたをする。
6　表面がブツブツしてきたら裏返し、きつね色に焼き色がつくまで焼く。

・波型プレート

調理例　焼肉など

1　本体に波型プレートを選んでのせる。（がたつきがないように、しっかりのせてください。）
2　電源プラグをコンセントに差し込み、温度調節つまみを「**強**」にする。
　通電ランプが点灯します。
3　通電ランプが消えたら食用油などをひき、調理物を入れて調理する。調理状態に応じて温度調節つまみで温度調節をする。

⚠注意	• 調理によっては油が飛び散ることがあるので注意する。 • プレートの表面を傷めないために、金属ヘラや金属の刃物を使用しない。

・（たこ焼きプレート）

調理例　たこ焼きなど　（材料の目安は2回分）

1　本体にたこ焼きプレートを選んでのせる。（がたつきがないように、しっかりのせてください。）
2　ゆでだこの足を食べやすい大きさに切っておく。
3　卵、しょうゆ、塩、だし汁をよくまぜ、薄力粉（約330g）とベーキングパウダー（約5g）とダマにならないように混ぜ合わせて生地をつくる。
4　電源プラグをコンセントに差し込み、温度調節つまみを「**中**」にする。
　通電ランプが点灯します。
5　通電ランプが消えたら穴に食用油などをひき、生地と切っておいたゆでだこ、天かすや青ねぎ、紅しょうがなどを入れる。
　まわりが固まったら、竹串などでひっくりかえします。
6　盛り付けして青のりや、かつお節、ソースをかける。

	• 調理によっては油が飛び散ることがあるので注意する。 • プレートの表面を傷めないために、金属の串を使用しない。

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れの際は、必ず温度調節つまみを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜き、本体とプレートが冷めたことを確認する。** 感電・火災・けが・やけどの原因になります。

お手入れのしかた

水洗いできるもの

⚠注意	**金属たわし、クレンザーなどを使用しない。**

<平面プレート・波型プレート・(たこ焼きプレート)>

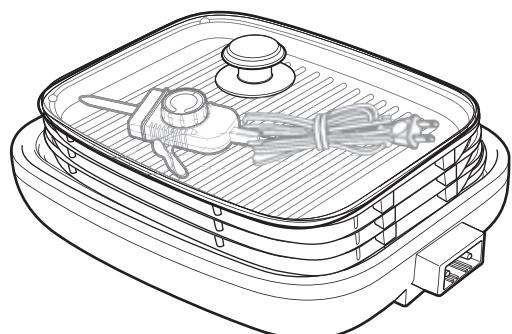
- プレートは丸洗いできます。
  プレートの内側はご使用後、よく絞ったふきんやキッチンペーパーで汚れや水分をふき取ってください。汚れがひどいときはプレートを本体から取り外し、台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よくすすいだあと、乾いた布で水気をふき取ってください。

<ガラスふた>

- 台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よくすすいだあと、乾いた布で水気をふき取ってください。
- 急激に冷やしたり、傷をつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。割れる原因になります。

⚠注意	**ガラスふたは、水などで急激に冷やしたり、固いものにぶつけない。** ガラス破損の原因となることがあります。

水洗いできないもの

<本体>

- 本体は、よく絞ったふきんやキッチンペーパーでふき取ってください。
- ヒーターのまわりに入り込んだ料理カスなどは、きれいに取り除いてください。
- ヒーターに料理カスがこびりついたり汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯にひたしてよく絞ったふきんなどでふき取ってください。こびりついたまま使用すると、故障の原因となります。

保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 右のイラストのように本体にプレートなどをのせ、ガラスふたをかぶせるとコンパクトに保存することができます。
- プレートを重ねるときはフッ素樹脂加工を傷つけないために、プレートとプレートの間にふきんなどを入れてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱などに入れて、湿気のない場所に保存してください。

⚠注意	**専用電源コードユニットでプレートとガラスふたを傷をつけないよう気をつける。** こげ付きやガラス破損の原因となることがあります。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
通電ランプが点灯しない （プレートが温まらない）	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかり差し込む
	• 温度調節つまみが「切」になっている	料理に合わせて温度調節つまみを設定してください
	• 温度調節つまみの設定温度よりプレートが熱くなっている	設定した温度より下がると、再び通電します
通電ランプがついたり消えたりする	• 故障ではありません 一定の温度に保つため調節しているためです	そのままお使いください
使用中カチカチと音がする	• 故障ではありません ヒーターの熱膨脹により発生する音です	そのままお使いください
においがでる	• 購入から数回は製造の過程での油が気化するためにおいが出ることがある	プレートごとに空焼き・丸洗いを1～数回行なう

長年ご使用のホットプレートはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。